

線と塗り

Illustratorで作成するオブジェクト（図形や文字など）には「線」と「塗り」があります。線をつけたり線の太さを変えたりすると、様々な表現ができます。ここでは便利な線のつけ方を紹介します。

●線と塗りの設定【カラーパネルで線と塗りの色を選ぶ】

塗りのみ線なしの状態

線のみ塗りなしの状態

塗りと線に色のある状態

線の太さはデフォルトでは1ptになってるよ。でもA4サイズの書類を作る際の野線として使うには、1ptって結構太くて、野暮ったく見えるんだよね。
例えば、この線は0.5ptにしてあります。こんな風に線はつけばなしではなくて、太さの調整をする癖をつけると一気にデザインの完成度があがるよ。やってみて！



●線と塗りの設定【線パネルで線の太さを調整する】

線パネル「線の太さ 3pt」

zoom!

線パネルで線幅を大きくすると線が太くなるよ。デフォルトでは「先端」と「角の形状」、「線の位置」が「一番左」になっています。

角の形状「ラウンド結合」

zoom!

「角の形状」を真ん中の「ラウンド結合」にすると尖っていた角が丸くなるよ。角は線幅の半分のRになるよ！

角の形状「ベベル結合」

zoom!

「角の形状」を真ん中の「ベベル結合」にすると角が平らになるよ。

線を内側に揃えた時

水色の線は元の花の外と内の線

「線の位置」を真ん中の「位置内側に揃える」にすると内側の線を中心に太くなるよ。ひとまわり小さくなります。

線を外側に揃えた時

「線の位置」を真ん中の「位置外側に揃える」にすると外側の線を中心に太くなるよ。一回り大きくなります。

●線と塗りを増やす【アピアランスパネルで線と塗りをカスタムする】

アピアランスパネルで線を追加して、それぞれ太さを変えるとこんなことも出来るよ！

このボタンで線を増やせるよ。

アピアランスパネルを使うとこんな風な袋文字も簡単に作れるよ！
こんな風に角を丸くしたいときは、アピアランスパネルにあるfxで「スタイライズ」→「角を丸くする」を選ぶと角を丸く出来るよ！

特殊効果をつけられるよ！